

2026年2月24日

一般財団法人 JR 東日本文化創造財団
MoN Takanawa: The Museum of Narratives
TBS

※本件の情報解禁は2月24日(火)AM4:00となります。
情報の取り扱いには十分ご注意くださいませ。

MoN Takanawa 開館記念特別公演

「MANGALOGUE (マンガログ) : 火の鳥」

作品を彩る豪華キャスト情報 第一弾を発表！

火の鳥役 夏木マリ、鉄腕アーム役 山寺宏一、

猿田博士役 古田新太、タマミ役 あの が声で出演！

さらに、マンガローガーとして又吉直樹の特別出演が決定！

2026年3月28日(土)にTAKANAWA GATEWAY CITYに開館となる、文化の実験的ミュージアム「MoN Takanawa: The Museum of Narratives (モン タカナワ: ザ ミュージアム オブ ナラティブズ、以下 MoN Takanawa)」(運営:一般財団法人 JR 東日本文化創造財団)およびTBSは、開館記念特別公演「MANGALOGUE (マンガログ) : 火の鳥」のキャスト情報について発表します。



最新のライブ空間で物語に没入する、マンガ体験。これが MANGALOGUE。

「MANGALOGUE (マンガログ)」は、普段は一人で読むマンガを、みんなで体験する新しいライブパフォーマンス。マンガそのものを映し出す巨大LED、舞台をナビゲートする「ロボットアーム」、そして観客と一緒に物語を旅する「MANGALOGUER (マンガローガー)」たちとともに、マンガの世界を体感します。

そんな新しいマンガ体験を作り上げるにあたり、豪華なキャスト陣が集結しました。

登場するキャラクターに魂を吹き込む声出演では、火の鳥役として夏木マリ、タマミ役としてあの、猿田博士役として古田新太など、豪華な面々の出演が決定。

さらに、今回の公演を象徴する鉄腕アーム役を務めるのは山寺宏一。

ロボットアームの「鉄腕アーム」は、劇場でのマンガ体験をナビゲートする役割。先端に備えたカメラの視線を巨大LEDスクリーンへと映し出し、まるで命が宿ったかのように熱心にマンガのコマを追います。普段は一人で読むマンガを、ここではその場にいる全員が同じ視線でたどりながら、物語をともに体験し、共有していきます。

また、「MANGALOGUER (マンガローガー)」は、ロボットアームとともにマンガの世界をたどる旅へと出るキャストです。観客の視点を代表する存在として、時に物語の展開に共感し、時に疑問を投げかけ、理解を深めながら物語を追体験していく役割を担います。最初の「MANGALOGUER (マンガローガー)」は、又吉直樹。公演初日である4月22日(水)、また23日(木)に登場します。

さらに、3月中旬には豪華キャスト情報の第二弾を発表予定となっておりますので、乞うご期待くださいませ。

最新情報につきましては、公式ウェブサイトおよび特設サイトにて順次公開してまいります。

・ MoN Takanawa 公式ウェブサイト「MANGALOGUE (マンガローグ：火の鳥)」

https://montakanawa.jp/programs/mangalogue_hinotori/

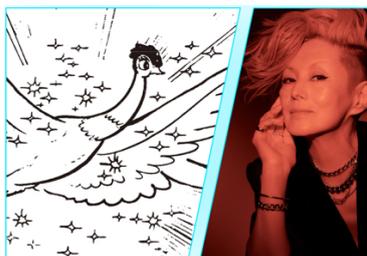
・ 「MANGALOGUE (マンガローグ：火の鳥)」特設サイト：2月24日(火)10:00公開

https://montakanawa.jp/special/mangalogue_hinotori/

■キャスト情報

<声出演>

・ 夏木マリ (火の鳥 役)



<プロフィール>

1973年歌手デビュー。1980年代より演劇にも活動の場を広げ、芸術選奨文部大臣新人賞などを受賞。1993年からコンセプトアートシアター「印象派」で、身体能力を極めた芸術表現を確立。シビウ、アヴィニョン、エディンバラと世界三大演劇祭を制覇している。

音楽とバラの支援活動「One of Love プロジェクト」で途上国支援にも従事し、現在はBS TBS「むかしばなしのおへや」の朗読、毎週金曜日にFMヨコハマ「夏木マリ Life Goes On~スワサントン BLUES~」のDJを続けている。ヴォイスアクターとして、スタジオジブリ作品宮崎駿監「千と千尋の神隠し」、ウェス・アンダーソン監督「犬ヶ島」、ウォルト・ディズニー作品「モアナと伝説の島」、2025年国際博覧会(大阪・関西万博)「アオと夜の虹のパレード」に出演している。2026年5月15日-17日の3日間、ブルーノート東京でのライブ・シリーズ「MARI de MODE」第8弾が決定している。

<コメント>

今や『火の鳥 未来編』は、現代の童話のような物語。

それは、近い将来を映し出すビジョンでもあります。

私は神でも悪魔でもなく、「真実を伝える」火の鳥。

作品における象徴的な存在として、宇宙的なリズムで物語をお届けしたいと思います。

映画よりも自由に、ゲームよりも文化的に。

新しい体験として、この世界をお楽しみください。

・山寺宏一（鉄腕アーム 役）



<プロフィール>

1961年6月17日生まれ、宮城県出身。

主な出演作として「それいけ!アンパンマン」（めいけんチーズ、ジャムおじさん、カバお役）、「新世紀エヴァンゲリオン」シリーズ（加持リョウジ役）、「ルパン三世」シリーズ（銭形警部役）など、洋画吹替えでは、エディ・マーフィーやジム・キャリー、ウィル・スミス、クリス・プラットなどを担当。俳優としても、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」やNHK連続テレビ小説「あんぱん」に出演。

<コメント>

マンガローグは、本当に画期的な取り組みだと思います。

僕は、これがきっと新しい、世界に発信する漫画文化のスタートだと思うので、最初の目撃者に皆さんになっていただいて、末代まで自慢していただければと思っております。そこに関わること本当に光栄に思っております。ぜひ劇場に来てください。

・古田新太（猿田博士 役）



<プロフィール>

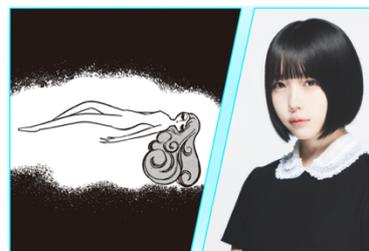
兵庫県出身。大学在学中より劇団☆新感線に参加。以降、看板役者として多くの作品に出演。音楽番組「EIGHT JAM」にレギュラー出演中。

近年の主な出演作に【舞台】「一富士茄子牛焦げルギー」、【ドラマ】「コーチ」（TX）、【映画】「栄光のバックホーム」「ゴリラホール」ほか。2026年3月から舞台「音楽劇 ポルノスター」、6月から劇団☆新感線「アケチコ！」が控える。

<コメント>

ども、古田です。手塚先生の作品に関わるのは初めてで、しかも「火の鳥」。本当は、過去の話が好きなのですが、まさか未来編に関われるとは、猿田博士ができるとは。おいら、手塚先生の女の子が大好きで、今回もタマミちゃんを見れるのが楽しみです。みんなで「火の鳥」を楽しみましょう。当然、物語を楽しむんですけどね。

・あの（タマミ 役）



<プロフィール>

アーティストとして2022年4月にトイズファクトリーよりデビュー。同年11月にリリースした「ちゅ、多様性。」で第74回NHK紅白歌合戦にも出演。音楽活動だけに留まらずタレント、俳優、声優、モデルと多岐に渡りに活動。昨年9月には自身初の武道館公演を開催し、2026年3月から全国ホールツアーを予定している。

<コメント>

「火の鳥」に関わらせていただけることがとても光栄です。この時代にこの作品を幅広い世代にも届けられるように、かわいくて、はかないタマミを、精一杯演じられたらと思います。

<リアル出演>（「MANGALOGUER（マンガローガー）」）

・又吉直樹



<プロフィール>

1980年大阪府寝屋川市生まれ。吉本興業所属のお笑い芸人、作家。

2003年お笑いコンビ「ピース」結成、ボケ担当。

2015年『火花』で芥川賞受賞。同作は累計発行部数350万部以上のベストセラーとなる。主な著作に『劇場』『人間』『生きとるわ』など。

<コメント>

私が担当するマンガローガーは、みなさんと一緒に物語の世界を体験していく存在です。

『火の鳥』は、人によって様々な感じ方・解釈ができる奥深い作品だと思います。

みなさんがそれぞれの視点で自由に物語を楽しめるよう、マンガローガーとしての務めを果たしていきたいです。

■「火の鳥 未来編」について



画像提供：朝日新聞出版

「火の鳥 未来編」は、全12篇から構成される『火の鳥』シリーズの一編。シリーズの中でも最も先の時代となる、西暦3404年以降の世界を舞台としている。本作は1967年に発表され、地球環境の荒廃や人類社会の変質、人工生命の研究などを背景に物語が展開される。

作中では、AIやクローン技術を想起させる要素が描かれており、当時の科学観や未来像が反映されている。過去から未来へと連なる『火の鳥』全体の構成の中で、「未来編」は人類の行き着く先を描くエピソードとして位置づけられており、その影響は世代や国境を越え、現在のマンガ・アニメーション、さらには映像表現全体にも及んでいる。

■プログラム概要



MANGALOGUE (マンガログ) : 火の鳥

【日程】2026年4月22日(水)～5月16日(土)

【会場】Box1000

【主催】MoN Takanawa: The Museum of Narratives
TBS

【企画制作】MoN Takanawa: The Museum of Narratives/
TBS/Basculc Inc.

【原作】手塚治虫「火の鳥 未来編」

【制作協力】手塚プロダクション

※手塚治虫/手塚プロダクションの「塚」について、正しい表記は旧字体。

■チケット情報

<特別先行販売>

- ・【公式】MoN Takanawa チケット (会員限定) : 2月28日(土) 10:00
- ・MoN Takanawa 公式プレイガイド ゲスト販売 (Fever) : 2月28日(土) 10:00
- ・TBS チケット : 2月28日(土) 10:00

<料金>

一般 : 4,500円～ / U25 : 4,500円 / 小学生以下 : 3,000円

※料金は全て税込価格です。

※開催日程、出演者等によって料金が異なります。

※4歳未満のお子さまはご入場いただけません。

<詳細>

- ・MoN Takanawa 公式ウェブサイト「MANGALOGUE (マンガログ : 火の鳥)」
https://montakanawa.jp/programs/mangalogue_hinotori/
- ・「MANGALOGUE (マンガログ : 火の鳥)」特設サイト : 2月24日(火) 10:00 公開
https://montakanawa.jp/special/mangalogue_hinotori/

<本件に関する問い合わせ先>

MoN Takanawa: The Museum of Narratives PR 事務局 (株式会社サニーサイドアップ内)

担当 : 鈴木結理 (080-4652-1713) / 佐藤若菜 (080-4652-1425) / 飯塚 / 阿部

MAIL : montakanawa_pr@ssu.co.jp